



123年の歴史に幕

八日市場小学校米倉分校閉校式・ 米倉分園閉園式

通学する3年生以下の児童数減少に伴い、123年の歴史に幕を下ろす八日市場小学校米倉分校（児童18人）で3月26日、関係者86人が出席して閉校・閉園式が行われました。

同校は明治17年開校、幼稚園は大正15年に付属幼稚園として開園しました。これまでに多くの児童が巣立っていきましたが、少子化が進み、児童数の減少が続いていました。

児童全員で元気一杯に「思い出のアルバム」を歌いました

式典では江波戸市長が「本校での生活に早く慣れ、た

くさんのお友達と仲良く、元気いっぱい活動してくれることを願います。市では皆さんの登下校に合わせて4月からスクールバスを運行します。」と式辞を述べ、児童たちはお別れのことばの中で「さみしい気持ちもあるけど、私たちは希望を持って本校へ行きます」と決意を新たにしていました。

滑稽に舞う「乙女」

松山神社で十二神楽

匝瑳地区松山の松山神社で4月13日、松山神社神楽保存会による十二神楽が演じられました。

松山神社の十二座の神楽は、すべて面を着け、手には太刀・鈴・扇・櫛うしなどを持ち、演目によって謡の伴うものがあります。演じるのは、すべて男性です。

演目11座「乙女（=写真）」では、おかめの面をつけた乙女が、右手に鈴、左手に扇を持って滑稽に舞いました。



乙女の名は大宮禰命▶

五穀豊穡を祈願

米倉「葦茅神社祭礼」



担ぎ手も誇らしげに

中央地区米倉の葦茅神社で4月6日、五穀豊穡を祈願し祭礼が行われました。

葦茅神社の神輿（みこし）は、江戸時代末期（1853年）に作られたと伝えられ、その後、何度かの修復が施されてきましたが、ここ数年傷みが目立つようになり、昨年、半年掛かりで修復されました。

一段ときらびやかに鮮やかな輝きを取り戻した神輿は、150人の担ぎ手により、地区内を誇らしげに威勢よく練り歩きました。

多くの観光客が「檀林の森」を堪能
飯高檀林歴史ガイド
日蓮宗最古・最大・最高の学問所だった飯高檀林。
この千葉県を代表する文化遺産の歴史を、現地ガイドが案内する「飯高檀林歴史ガイド」が3月22日～4月13日の毎週末行われまし
た。この期間中、千人近い観光客がここを訪れ、普段は静寂な「檀林の森」がにぎわいに包まれました。
参加者は、国指定重要文化財である講堂・総門・鐘楼・鼓楼をはじめ、檀林の歴史について詳しい説明を聞きながら、真剣にメモを取ったり写真に収めたりしていました。



たくさんの観光客でにぎわう「檀林の森」



40年の節目を盛大に祝う

ふるさとを熱く語る地井さん▶



新たな決意を胸に

八日市場青年会議所 / 創立40周年記念式典

八日市場青年会議所創立40周年記念式典が4月12日、横芝光町のカレドニアンゴルフクラブにおいて開催されました。

式典には、県内の24の青年会議所および姉妹交流を結ぶ台湾鳳山国際青年商会など200人が集まり盛大に40周年を祝いました。

同会議所は、昭和44年に全国で414番目に誕生し、以来、地域を基盤とした活動を脈々と今日まで受け継いできましたが、今後も決意を新たに明るく豊かな地域社会の実現に向けて活動することを誓い合いました。

また、式典終了後には匝瑳市出身の俳優で当市の観光大使を務める地井武男さんのスペシャルトークライブも行われました。

世界のクラシックカー100台が市内を駆ける

カーロ・グラン・スポーツR .C・2008

ロータリークラブ主催による「カーロ・グラン・スポーツR .C・2008」が3月22日～23日に開催されました。

この大会は、1972年までに製造された外国製スポーツカーなどのクラシックカー約100台が参加して、2日間で1都2県約600キロの決められたコースを、時間内に正確に走るタイムラリーです。

東京をスタートして、2日目の23日に匝瑳市内を通過。チェックポイントの「ふれあいパーク八日市場」には、クラシックカーの愛好者やたくさん見物客が訪れ、世界の名車に熱い視線と声援を送っていました。

チェックポイントを通過するタレントの堺正章さんのマセラティ▶



発団以来2人目の菊章受賞

ボーイスカウト隊荒木さんが市長表敬訪問

3月28日、日本ボーイスカウト匝瑳第1団(団委員長・間瀬順二さん)に所属する荒木祥行さん(八二中2年)が、ボーイスカウトにおける最高栄誉である「菊章」を受賞したことを報告するため、江波戸市長を表敬訪問しました。

報告を受けた江波戸市長は、「学力より心の向上が大切。荒木君のような青年が増えることを期待している。今後は指導者として頑張ってもらいたい」と激励しました。

激励を受けた荒木さんは「これからは菊スカウトとして頑張ります」と元気いっぱい答えました。



市長(左)と握手する荒木祥行さん

古代の^{たてあな}竪穴住居が見つかった!

中央地区籠部田の台地

3月の後半、中央地区籠部田の台地上で、携帯電話の基地局の建設に伴い、発掘調査を行ったところ竪穴住居が発見されました。古墳時代から平安時代にかけての住居跡4軒が、一部で重なって見つかっています。写真は、奈良時代の竪穴住居の図面を作成しているところです。女性2人の手前には、かまどの跡が見えます。



一段くぼんだ住居跡